

今年度の様々な活動や行事を紹介します

保育所では食育活動の一つとして菜園活動をしている他に、季節ごとの行事などを通して、興味、関心を深めること、実際に見て触るなどの経験をするこ
とで刺激を受け発達や成長を促しています。

菜園活動(夏野菜)

3歳児ばら組

「ふわふわの土のお布団を優しくかけてあげよう。」



トマト作り

「今日は、水やり当番やね。大きくなあれ。」



みんなで力を合わせてプランターを運びます。
「よいしょ。」
「わっしょい。」



ここにも、ピーマンできてるよ。

4歳児うめ組

ピーマン作り

「赤いトマトができたよ。」
「どうやって食べようか?」



収穫した野菜を自分たちで、給食室に調理のお願いを伝えに行きます。



「うめ組で育てた野菜です。今日の給食に入れてください。」



「たくさんできたね。」

5歳児ゆり組

かぼちゃ作り

「見て。大きなかぼちゃができたでしょう。」



「甘いかぼちゃになあれ」

3,4歳児はプランターでの栽培で、5歳児は畝を作った栽培でかぼちゃ作りをしました。かぼちゃが大きく生長すると、じっくりよく見て描く観察画もしました。収穫後には、シンプルな調理の素揚げにして食べて、かぼちゃその物の味を堪能しました。

稲作づくりに挑戦 (5歳児 ゆり組)

農業委員会、地域の方から稲のバケツ苗をいただきました。5歳児(ゆり組)が育て方などの説明を聞き稲作にも挑戦しました。秋には稲穂が無事に実ることを楽しみにしている子どもたちでした。(無事に秋に稲穂が実り、脱穀の経験もしました。これらの詳細もホームページに掲載しています。こちらをご覧ください。)



しばらくはバケツの水をいっぱいにして置いて、水を抜く日を土用干しと言います。

「本当に、バケツでお米ができるのかな」



「バケツの水はいっぱいにしておかないとね」

クレマンさんとあそぼう

年間3回の予定でスイスの国際交流員のクレマンさんに来ていただき、スイスの言葉や挨拶、英語やフランス語を教えてくださいました。また、世界の映像を通していろいろな国の文化を知り、興味や関心を持つ機会となりました。



1歳児クラスでは、最初はクレマンさんとの距離を取り様子を伺う感じでしたが、普段遊んでいる玩具を「どうぞ」と渡したことをきっかけに、距離も縮まりクレマンさんに関心を示す子どもたちでした。



2歳児クラスでは、英語の単語を発した子どもから発端で、単語のやり取りを楽しみました。



3歳児クラスでは、パズルなどの遊びを一緒にすることやスイスの手遊びをフランス語の歌に合わせて教えていただきました。

「前に来て一緒にしてくれる人いますか」クレマンさんの呼びかけに何人も「はい!」と手をあげて積極的でした。

4歳児クラスでは、二人組になったの遊びで、ネコが出てくる手遊びをフランス語で教えてもらいました。



みんなの前で、クレマンさんとする手遊びは、少し照れながらも、ゆっくり教えてもらい最後までできると嬉しそうにしていました。

5歳児クラスでは、スイスの絵本を見せてもらい、遊びや動物や食べ物、お祭りなどを教えてもらいました。



「その動物、知っているよ」
「見たことあるよ」

どんぐりひろい

毎年11月に行われているURコミュニティの事業で行われている寄付イベントに今年も5歳児ゆり組の子どもたちが参加しました。どんぐり山(香芝市真美ヶ丘6丁目団地内)で袋いっぱいのだんぐりを集めてきました。集まったどんぐりを奈良の鹿愛護会を通して奈良公園の鹿苑で保護されている鹿のごはんとして寄付しました。

鹿にあげてください。
よろしくお願いします。

鹿はどんぐりを食べる
こと知らなかった。



「これがいいかな」
「おいしく食べてくれるかな」など鹿の気持ちになって、考えることや大小を選んだり吟味しながら拾っていました。



どんぐりを拾った後には、おみやげでガチャガチャを回して、キャラクターの「しまろくん」グッズを頂きました。



みかん狩り

11月16日(水)5歳児ゆり組が上ノ太子観光みかん園にみかん狩りに行きました。天候に恵まれ、農園いっぱい実ったみかんの木を目にして、興奮気味な子ども達。どれがより甘くておいしいものか、保育士や友だちと話をしながら情報交換しながら、あちらこちらの木のみかんを狩り食べ、満足感でいっぱいでした。「僕は、6個食べたよ」「私は8個」など、食べた数や楽しかったことの会話を弾ませながら、保育所へ戻る道中でした。

左右どこをみても、みかんがたくさん実った木々を目にして、「日の当たっているみかんはおいしそうだな」と思案しながら取る子もいれば、直感で次々と取る子もいるなど様々でした。



このみかんの皮、固い。むくのにかがいます。



私の手の大きさより大きいよ。



さっき食べたみかんより、甘いかな。

「先生、これ大きいでしょう」
「先生にも、これあげる。」



保育士に、これは美味しいと見定めたみかんをいくつも渡していました。



欠席者が1人も出ることなく、26名全員揃って「ハイ、ポーズ！」
みんなの素敵な笑顔がいっぱいです。

今年度も残り3ヶ月となりますが、他にも楽しい行事がまだ残っています。新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、子どもたちがわくわく、ドキドキと心を動かし、経験を重ねていけるよう保育を工夫して進めていきたいと思っています。みんな元気に保育所で遊びましょう！